新子育て支援拠点施設が開館

親子が安心して集える場所が物産公園内に誕生

新しい子育て支援拠点施設「このゆびとまれ」が、4月9日(土)に物産公園内にオープンします。同施設は、雨の日でも遊べるデッキスペースや広いプレイルームなどを完備。天気を気にせず、親子が安心して集える施設です。今回は、そんな施設の概要を紹介します。親子で気軽にお越しください。

【問】市子育て支援課子育て支援係（☎77・8523）

このゆびとまれ

安心、安全な新施設

市は、出産や育児の不安を和らげるため、新しい子育て支援拠点施設「このゆびとまれ」を整備しました。親子が仲間と出会い、交流し、子育ての情報を共有できる、笑顔あふれる広場を目指します。

施設は木造平屋建て。天井が高く、木のぬくもりが感じられる室内は、子どもたちはもちろん、保護者も快適に過ごすことができます。また、充分な広さの駐車場を整備し、雨の日でも遊べるデッキスペースやランチルーム、子どもトイレなども完備。子育てコーディネーターやアドバイザーが常駐しているので、育児の悩みをいつでも相談することができます。子育てに疲れたり不安を感じたりしたときは気軽に利用してください。

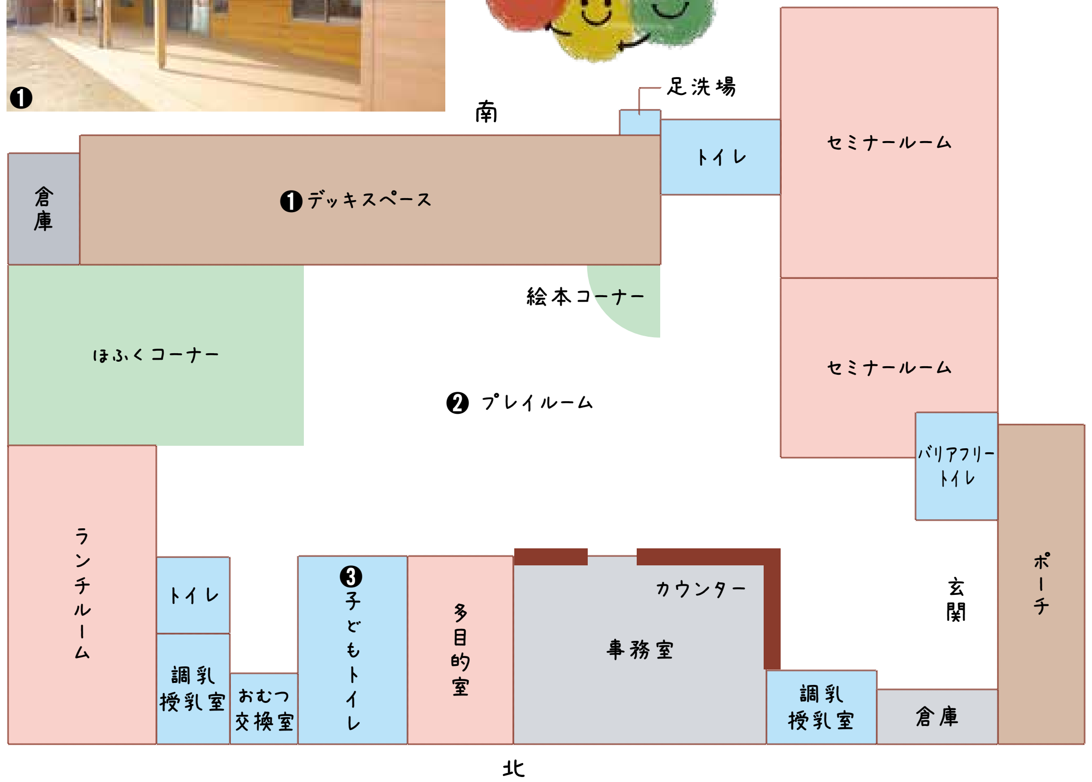
- **開館日時**　月～土曜、午前10時～午後4時
- **場所**　物産公園内
- **対象**　おおむね0歳～3歳の子どもとその家族
- **事前申込**　不要
- **利用料**　無料

物産公園内のトイレをリニューアル

施設がある物産公園は施設の完成に合わせて、リニューアル。子育て世帯が利用しやすいように、男女それぞれのトイレにベビーチェアとおむつ替台を設置しています。施設と併せてぜひ、ご利用ください。

❶縦 2.73 m×横 14.56 mのデッキスペース
❷広いプレイルーム。畳のほふくコーナーも
❸子どもトイレや調乳授乳室も完備

延床面積：380.09 ㎡



おむつや水分補給できるものなどを持って遊びに来てね

子育てしやすい関係づくりをお手伝い

子育て支援コーディネーター
森 郁子さん

新しい子育て拠点施設は、広いプレイルームや畳のコーナーなど、子どもが思いっきり遊べる空間があります。柳城児童館では、平日のみ開館していましたが、これからは土曜日も開館するので、日頃仕事で来ることができない親子も大歓迎。施設のコンセプト「はぐくみ　つながり　笑顔がいっぱい」の言葉通り、親同士、子ども同士がつながり、さらに地域全体で子育てができるような場所を作っていきたいと思います。

コロナ禍で、子育てをする親の孤立が深まっているとよく耳にします。この施設に来れば、同じ悩みを抱える人と出会えたり、子どもの成長や離乳食のことなど、子育ての情報を得たりできます。また、施設のリニューアルに合わせて、何でも聞ける「助産師相談会」や同じ悩みを気軽に話せる「このゆびトークタイム」などの、内容をさらに充実させます。外出が難しい親子のために、声だけで参加できる「オンライン子育て広場」も企画中。自分らしい子育てのヒントがきっと見つかるはずです。いつでも、一人でも大丈夫。まずは足を運んでみてください。

みんなで遊ぼう
このゆびとまれ

「このゆびとまれ」は平成19年に市の事業として始まりました。柳城児童館で実施していた同事業は、4月から新施設で実施。スタッフも4人に増員し、利用者にきめ細やかな支援をします。

「このゆびとまれ」のここがすごい

親子の子育てを応援
これまで15万人が利用

「このゆびとまれ」は、親子の交流の場として、また、子育ての情報収集の場として、これまで15年間で約15万人が利用しました。

お父さん大活躍のお外で広場

月に1回、外遊びをする「お外で広場」を開催。お父さんや地域の人も参加し、たくさんのつながりが生まれる場となっています。5月から、毎月第1土曜日に開催予定。公式サイトで最新情報を確認してください。

ファミサポの事務局を同施設内に設置

やながわファミリーサポートセンターの事務局を水の郷から、同施設内に移動。ファミサポは、子育てをサポートしてほしい人と、したい人が助け合う制度です。ご利用お待ちしています。

ファミサポ